

いい子だね

「この子はバカなので、このままでは不良になります」担任からそう言われたのは、私が小学校低学年の時だった。のちに母から聞かされたその言葉は、私の心に大きなショックを与えた。

私の家族は引越しが多かった。「バカ」と評された時の私は転校したばかりで、前の学校と比べて進み具合が速かったこともあり、授業についていくのにとっても苦労していた。私の母は担任の言葉に焦り、学校が終わると母の手書きの学習ノートで勉強をさせられた。遊びたいのに、無理やり机に座らされて勉強をさせられたことは苦痛だった。

その後また引越しをした。次の小学校では授業の進み具合が前の学校より遅かった。今度は、私は勉強ができる子になっていた。不思議なもので、勉強ができる、行動も優等生になった。同級生がイジメていた毛虫

を「弱い者いじめはだめ!」と救ったり、放課後の掃除も率先して雑巾がけに励んだりもした。そんな私の姿を見て、担任の先生は「久保田さんはいいい子だね」と褒めてくれた。

私はいいい子なんだ……。先生の言葉は、中学校に入ってから私の支えになった。もっと勉強を頑張ろう、いい子になろうと思いつけることができた。中学では英語が大好きになった。外の世界のことをもっと知りたいと、勉強という感覚でもなく、前のめりに英語に没頭した。そして「バカ」だった私は、アメリカの大学院で修士号を取得した。

「鷹^{たか}が鷹を生んだのね」大学の卒業式で母は私に言った。私は自分がバカなのか、いい子なのか、鷹なのか、鷹なのかはわからない。しかし、自分が何であれ、これまでの環境のめぐり合わせと、大人たちからの言葉がけによって今に至っていると感じている。どの言葉も私のことを思っていることだったと今は思う。でも、やっぱり私の行動を観察し「いい子だね」と褒めてくれた先生の言葉、そして、優しいまなざしで私に笑いかけてくれた先生の表情は今でもよく思い出す。



広島県生まれ。報道記者。TBS報道局デジタル編集部所属。

2000年にTBSテレビに入社。アナウンサーとして「報道特集」などを担当。

2013年からは報道局兼務となり、ニューヨーク特派員や政治部記者などを担当。

2017年にTBSテレビを退社後、2019年アメリカ・コロンビア大学にて修士号（オールヒストリー）を取得。

同年に東京大学大学院情報学環・学際情報学府博士課程へ進学し、

戦争の記憶を聴く活動とともにオールヒストリーの研究を行う。

2020年にTBSに復職し、現職。米日財団・日米リーダーシップ・プログラム（USJLP）フェロー。